

クラス	311	担当教員	今井理恵
テーマ	共に生きる、共に学ぶ インクルーシブ教育をつくる		
著書・論文 研究課題等	<p>(著書)</p> <ul style="list-style-type: none"> 『インクルーシブ授業をつくる -すべての子どもが豊かに学ぶ授業の方法-』、共著、「参加と共同を軸にした授業づくりの方法論」、pp.60-71、ミネルヴァ書房、2015年。 『インクルーシブ授業の国政比較研究』、共著、「インクルーシブ授業における子どもの参加・共同に関する教育方法学的検討」、pp.76-861、福村出版、2018年 『アクティブ・ラーニング時代の実践をひらく「障害児の教授学」』、共著、「教材文化の教授学」、pp.104-116、福村出版、2019年 『子どもとつくる教育方法の展開』共著、「現代の子ども理解と発達の間い直し」、ミネルヴァ書房、2021年 		
ゼミナール概要			
キーワード：発達障害、インクルーシブ教育、学習の共同化、特別ニーズ教育			
<p>目的、内容、方法、授業計画等：</p> <p>現在、通常学級には発達障害のある子どもが6.5%在籍していると言われています。教師をしていくうえで、発達障害児を含めて多様な子どもたちが在籍する通常学級での学級づくりや授業づくりの方法を理解し、追求していくことが求められています。</p> <p>通常学級には発達障害児のみならず、特別な教育的ニーズ（SEN）のある子どもがさまざまにいます。不登校、被虐待児、貧困等、抱えている課題はさまざまにあります。私たち教師が特別な教育的ニーズを理解し、そこに応答する教育のあり方について認識を深めようとするのは、ニーズのある子どもはもちろんのこと、障害のあるなしにかかわらず、一人ひとりの子どもの発達を支え、学びを豊かに展開しようとするからです。</p> <p>課題を抱えた子どもが大切にされない学級（＝排除されている学級）は、どの子どもにとっても生きづらい学級になることは言うまでもありません。</p> <p>ゼミでは、子どもの生活現実や特別な教育的ニーズに対する認識を深め、さまざまな課題のある子どもに対して教育はどのように応答しようとしているのかを考察・検討します。</p> <p>そのうえで、一人ひとりが排除されることなく、お互いの差異を認め合い、多様な他者とのつながりのなかで共同的にかかわり合い、学び合う教育実践のあり方について追求していきます。</p> <p>基本的には、ゼミ生たちが主体的に研究テーマを設定し、文献、資料、研究会への参加などを行いながら研究を行います。参考までに、以下はこれまでに取り組んだテーマです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. SENのある子どもの生活現実をよみひらく、 2. 子どもの生きづらさと向き合う、 3. 子ども観を問い直す、 4. 特別なニーズ教育について認識を深める、 5. SENのある子どもの学びについての現状と課題を探る、 6. 「共同的な学び」のあり方について追求する。 			
担当教員からのメッセージ			
<p>特別な教育的ニーズは、障害のある子どもはもちろんのこと、障害の有無にとどまらずに、いじめ、不登校、貧困等、さまざまな課題や生きづらさを抱える子どもたちが有しているものです。</p> <p>教師を目指す方、子どもの教育に関わる仕事をしたい方は、教育実践を通して子どもたちの思いや願いをききとり、子どもの声に応答していくことが求められます。発達障害、いじめ、不登校、貧困等の子どもの教育問題を通して、学校のあり方や学級づくり、授業づくりの方法を含めて、“教育”についてさまざまな視点から共に考えていきましょう。</p> <p>ゼミは学生が主体となって学びと活動をつくりだしていく場です。問題意識を持って研究テーマを設定し、積極的にゼミ活動に参加することを期待しています。</p>			